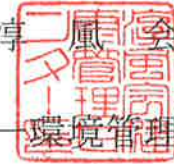


エスク岡山株式会社 殿

石綿粉じん濃度測定結果報告書

一般財団法人 淳二風会



健康管理センター 環境管理課

岡山市南区古新田 1112

電話 086-281-5050

作業環境測定機関(登録No.33-1)

環境計量証明機関(濃度 6-25, 音圧レベル 7-3,
振動加速度レベル 8-9)

先般ご依頼を受けました『エスク岡山株式会社』の石綿粉じん濃度測定の結果は、
以下の通りです。

1. 測定場所

エスク岡山株式会社 (赤磐市山手 46)

2. 石綿粉じん濃度測定実施日

平成 29 年 2 月 14 日 (火)

平成 29 年 2 月 15 日 (水)

3. 測定実施者

山下 庸介 (第 1 種作業環境測定士 33-511 号)

4. 測定方法

- ・石綿に係る特定粉じんの濃度の測定法 (環境庁告示第 9 3 号) 準拠
- ・(公社) 日本作業環境測定協会「繊維状物質測定マニュアル」準拠

(1) サンプルング条件

試料採取機器 : ローボリウムポンプ (柴田科学製 LV-40BR、IP-20T)

フィルター直径 : 47 mm φ (ミリポアメンブランフィルター AAWP)

測定位置 : 測定高 1.5m、(別紙図面、写真)

吸引時間 : 240 分

吸引空気量 : 2400 l

温度・湿度・気流 : 測定器具 (アスマン通風乾湿計、アネモメーター)

(2) 石綿計数

使用機器 : 位相差顕微鏡 (ニコン ECLIPSE 80i)

顕微鏡視野面積 : 0.07065 mm²

計数視野数 : 50 視野

採じん面積 : 961.625 mm²

マウンティング法 : アセトノートリアセチン法

5. 石綿粉じん濃度測定結果

測定場所	石綿粉じん濃度(*) (f/ℓ)	f/視野	測定日	測定時間	測定時の条件			
					天候	気温(°C)	湿度(%)	気流(m/s)
①	0.3未満	0/50	H29.2.14	10:16~14:16	晴時々曇	7.5	75	0~2.0
②	0.3未満	1/50	〃	10:09~14:09	〃	〃	〃	〃
③	0.3未満	0/50	〃	10:11~14:11	〃	〃	〃	〃
④	0.3未満	0/50	〃	10:14~14:14	〃	〃	〃	〃
⑤	0.3未満	1/50	〃	10:37~14:37	〃	〃	〃	〃
⑥	0.3未満	0/50	H29.2.15	9:51~13:51	晴	7.5	51	0~1.0
⑦	0.3未満	0/50	H29.2.14	10:24~14:24	晴時々曇	7.5	75	0~2.0
⑧	0.3未満	0/50	H29.2.15	9:56~13:56	晴	7.5	51	0~1.0
⑨	0.3未満	1/50	〃	10:14~14:14	〃	〃	〃	〃
⑩	0.3未満	0/50	〃	10:10~14:10	〃	〃	〃	〃
⑪	0.3未満	1/50	H29.2.14	10:33~14:33	晴時々曇	7.5	75	0~2.0
⑫	0.3未満	0/50	H29.2.15	10:01~14:01	晴	7.5	51	0~1.0

(注)・単位(f/ℓ)は、空気1リットル中の繊維の本数です。

・本法による定量下限は0.3 f/ℓです。

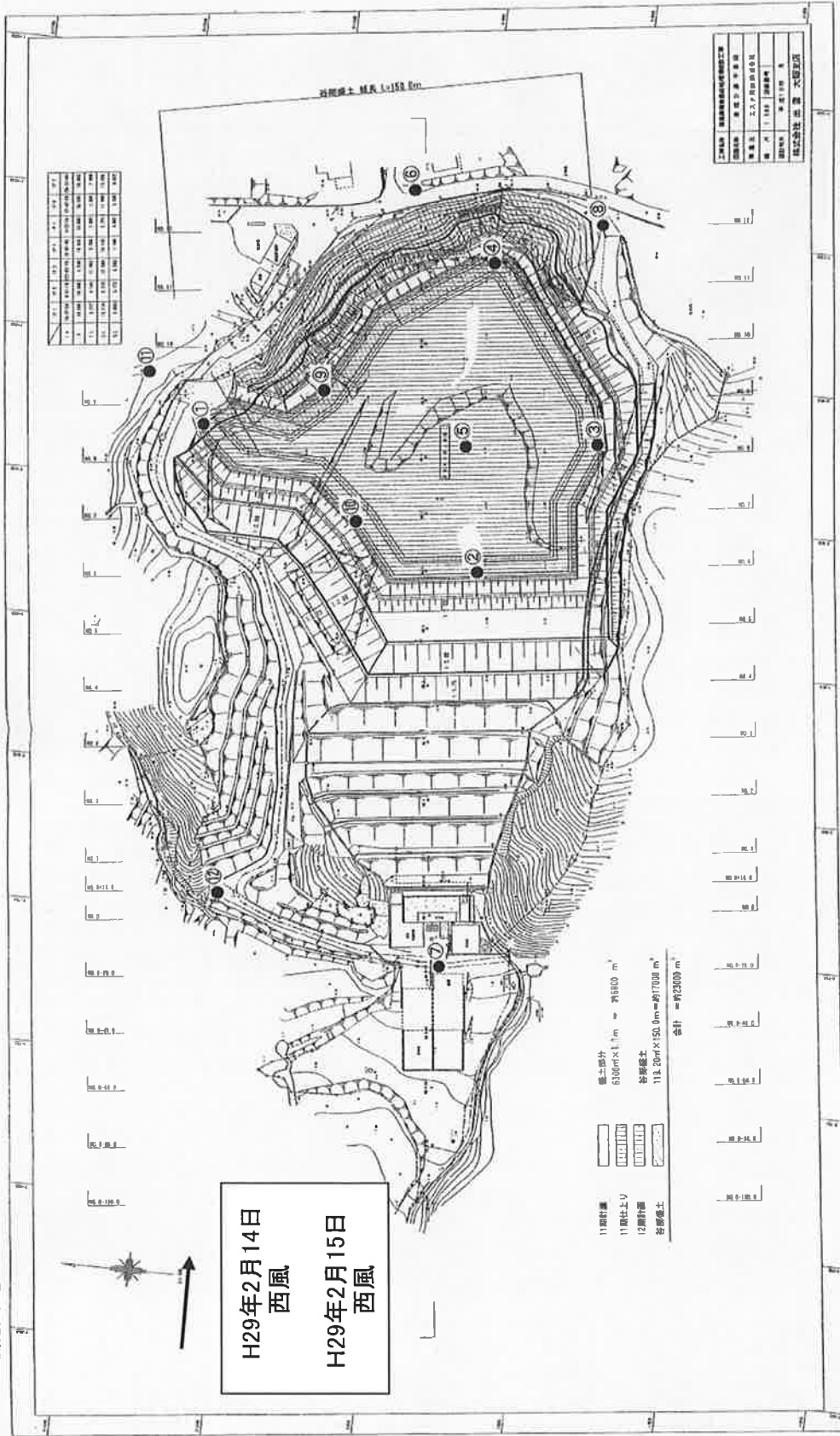
・(*)石綿粉じん濃度は、繊維状粒子の繊維数濃度です。

6. 考察

世界保健機関(WHO)の環境保健クライテリア(昭和61年)では「環境中のアスベスト濃度は都市部で1リットルの空気中に1本から10本程度の範囲にあるが、この程度なら一般住民においてはアスベストに起因する肺がん、中皮腫のリスクは検出出来ないくらい低いであろう」という評価をしています。

測定結果は、全測定点でWHOの評価基準(10 f/ℓ以下)と比べますと、十分低い値でした。

測定位置を示す図面



H29年2月14日
西風
H29年2月15日
西風

11箇所
11箇所に
12箇所に
各部に

土部分
6300m²×1.1m = 71800 m³
砂礫土
113.20m²×150.0m = 約17000 m³
合計 = 約88800 m³

測点	14日	15日
1	1.2	1.5
2	1.5	1.8
3	1.8	2.1
4	2.1	2.4
5	2.4	2.7
6	2.7	3.0
7	3.0	3.3
8	3.3	3.6
9	3.6	3.9
10	3.9	4.2
11	4.2	4.5